

交通事故遺族の自助グループ

ふれあい

ふれあい

自助グループとは

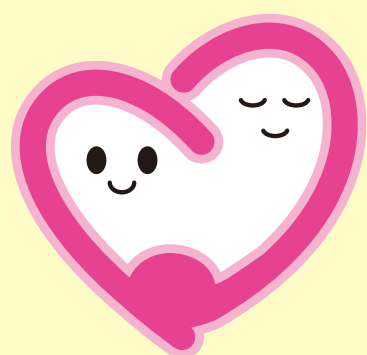
同じようなつらさを抱えた者同士が、お互いに支えあい
励ましあう中から問題の解決を図ることを目的に集うグループです。

誰にも自分の本当の気持ちを話すことが出来ない
何をしたら良いのか相談する人もいない
閉塞感がいっぱいでもする気がしない
今後のことについても考える気力もない
世の中すべてがいやになる

ひとりでかかえこんでいませんか。

以前のような生活が送れないことに対する、不安や苛立ちはありませんか。

お互いが安心して話せる場所があることは孤独感や疎外感を軽くしてくれます。
よろしかったら共に歩みませんか。



シンボルマーク
「こころっぴー」

岐阜県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

公益社団法人 全国被害者支援ネットワーク加盟

公益社団法人 ぎふ犯罪被害者支援センター

〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12 シンクタンク庁舎

TEL 058-275-3933(月～金 9:30～16:30 祝日、年末年始を除く) FAX 058-213-3933

<https://www.gifu-vsc.org>



2002年3月31日 入社式の前日、
息子(22歳)は誰にも別れを言わず
ひとりで旅たってしまいました。
以来、時間は止まり生きる気力も無く
呆然としていた時に自助グループ
「ふれあい」に参加させていただきました。
遺族にしか分かりあえない想いを
泣きながら わめきながら笑いながら
話せる癒しの時間はとても貴重で
もう少しだけ頑張ってみようかなと
思う気力を頂いています。

瑞穂市 K

顔が見たい。
声が聞きたい。
抱きしめたい。
願っても願っても願いは叶わない。
何も要らない、お願いだから娘を返して..

神も仏も信じられない。
あれから、4年半、茫然自失の日々。

でも、たくさんの出会いがあった。
まいこからのプレゼントだと、そう思う。

揖斐郡 まいこママ

達哉ーと叫び続けて早7年を迎えようとしている。
あの日から家族の生活すべてが変わってしまった。
いつもしも僕は達哉に言ってる、バカヤローと。
達哉に会えてよかったなんて言えない、もっともつと
幸せになるはずだった達哉を見たかった。
そして僕がこの世から去る時に送ってほしかった。

池田町 M

交通事故遺族の自助グループ

ふれあい

ふれあい

17才の息子を亡くしてから7年半。はた目からは、すっかり
立ち直った私がいる。でも、本当は違う。悲しみも苦しみも
変わらない。同じ立場の方々と想いを語り、共に泣き、怒り、
笑い... 少し心を休め、元気をもらって、また日常へと
戻って行く。「ふれあい」は、私にとって「心のオアシス」
なのかなと感じている。

岐阜市 Y.K

8年の時の流れ

あの日は、いつもの朝と同じく元気な声で、
『おはよう』の挨拶で始まりました。
『久しぶりで休みが取れたので、
家族全員で食事が出来るね』と、
それが武志との最後の会話になりました。
今家族全員で、時々食事をしますが、
ここに武志もいればなど思い、淋しさが
こみ上げてきます。

岐阜市 T.I

交通事故遺族の自助グループ「ふれあい」を毎月開催しています。
同じような被害を受けた人の話を聞きたい、話をしたいという思いをお持ちの方は、
センターまでお問い合わせください。

電話

☎ 0120-968-783 ☎ 058-268-8700

月～金 10:00～16:00 祝日、年末年始を除く

メール

info@gifu-vsc.org

岐阜県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

公益社団法人 全国被害者支援ネットワーク加盟

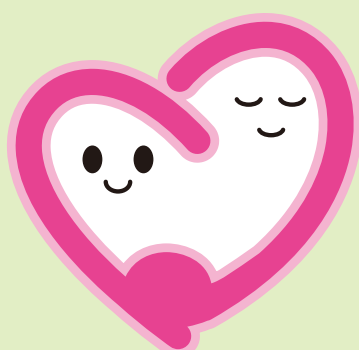
公益社団法人 ぎふ犯罪被害者支援センター

〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12 シンクタンク庁舎

TEL 058-275-3933(月～金 9:30～16:30 祝日、年末年始を除く) FAX 058-213-3933

<https://www.gifu-vsc.org>

このポスターは、中日新聞社会事業団の助成を受けて作成しました。



シンボルマーク
「こころっぴー」

